



期間 令和7年 10月20日(月)～12月22日(月) [全8回]

実施場所 生涯学習総合センター 〒803-0811 小倉北区大門1-6-43 (27ページアクセス参照)
北九州市立ひまわり中学校(第6回) 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野1-2-1

申込・問合せ先 生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL: 571-2735 FAX: 571-0943

時間 18:30～20:30

応募締切

10月1日(水)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 30名

受講料 3,000円

受講生へのメッセージ

コーディネーター：九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子

今年度は、「あらゆる人が幸せに生きるための体験的・対話的な学び」をテーマに設定しました。テーマにある「あらゆる人」とは、子どもから高齢者まで、また、学びにアクセスしにくい人や地域、学ぶ余裕がない人、孤立や不安に陥っている人など、学びから疎外されている人をイメージしています。また学びの内容や方法については、「体験的・対話的な学び」に焦点をあて、あらゆる人が幸せに生きるための学びについて、これまで蓄積してきた実践の事例をもとに探っていきます。さらに、学びを支える学習支援者の役割についても一緒に考えていきます。フィールドワーク、また対話するワークも随所にちりばめられています。ぜひ一緒に楽しく学びましょう！

宮嶋 晴子

当事者・実践者・研究者の3つの立ち位置から、講座コーディネートを担当させて頂きます。私は、「学びの一步をいかに踏み出すか」に興味があります。ぜひみなさんにとって「学びのはじめの一步」となる講座を目指したいと思います！



グループワーク中心の講座です

回数	月 日	テーマ・内容	担当講師
1	10/20 (月)	はじめに 「あらゆる人が幸せに生きるための体験的・対話的な学び」とは 自己紹介ワーク&ディスカッション 受講生の出会いと学びを大切にスタートします！	九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子
2	10/27 (月)	北九州の社会教育・公民館実践からの学び ～林えいだい氏、山下厚生氏など旧5市時代からの北九州での取り組みを通して～ 【講話と意見交換】	北九州市立大学 教授 恒吉 紀寿 専門は、社会教育学。北九州を代表する社会教育・生涯学習研究者。
3	11/10 (月)	ワークショップ 林・山下両氏実践の学びから考える学習活動と学習支援者の役割。北九州の社会教育実践をさらにワークで掘り下げていきます。	九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子
4	11/17 (月)	これからの社会教育に期待することとは ～地域と高校の協働やコーディネーターの育成等から見えてきたこと～ 【講話と意見交換】	一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム 代表理事 岩本 悠 海士町に移住し、島前高校の島留学を皮切りに島根県全体の地域・教育魅力化実践を展開。文科省中央教育審議会委員。
5	12/1 (月)	「土台的人権」としての識字・基礎教育 【講話と意見交換】 ※土台的人権とは、ひとがひととして生きていくための土台となる人権。それなしでは、あらゆる権利を行使できない人権中の人権という意味。	福岡大学 教授 添田 祥史 大学院生時代に自主夜間中学の活動に携わる。ひまわり中学校の設置検討会議の座長も務めた社会教育研究者。
6	12/8 (月)	公立夜間中学校「北九州市立ひまわり中学校」の役割と展望 【フィールドワーク】 ※令和6年4月開校。市立中学校の敷地内に設置された、特徴を持つ公立夜間中学校。	北九州市立ひまわり中学校 校長 堀 宏範
7	12/15 (月)	ともに体験し、語り合うことを大切に「書く」という営み ともに体験し、語り合うことから書いてみよう！ 【講話とワークショップ】	さとの日記広場 主宰 鍬塚 聡子 日記広場とともに、毎夏「図書館講座小1・2年の「親子で楽しく読書感想文講座」の講師。
8	12/22 (月)	おわりに～ディスカッション～ 本講座から見えてきた「あらゆる人が幸せに生きるための体験的・対話的な学び」とは。講座最終回、みなさんと一緒に、7回までの学びを振り返り、本講座から見えてきた学びを考えます。	九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子

スポット受講
詳細は2ページ
料金
1000円/回
第2・4・5回
のみ